

1. 科目名 (単位数)	世界史 (2単位)	3. 科目番号	GELA1328 GELA1348						
2. 授業担当教員	福島 裕								
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>歴史を学ぶということは過去を記憶することのみにとどまるものではない。それを踏まえ、現在をどのように生き、さらに未来をどう構築していくのかについて主体的に考えることである。つまり、現存の社会、経済、政治制度、文化、思想、技術などがどのように形成されてきたのか、それを今後どのようにしていくのかについて、総体的に捉えることが必要である。各地域の歴史、文化、民族などは共通する部分もあるが、基本的にはそれぞれが異質な存在であるととらえた方がそれらに対し真摯である。世界史の授業では、様々な地域の歴史を学ぶことを通して、各地域の文化や民族の特質を理解し、多文化共生社会の実現に向けて必要となる知識や教養を身に付けることを目的とし、</p> <p>受講生の興味・関心のある課題を取り入れながら授業を進めていくことにしたい。</p>								
8. 学習目標	<p>大きな目標は4点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平和を維持するため、戦争を起こさないための強い気持と行動力を形成し、実践に活かすことができる。</li> <li>2 現代にいたる歴史の概要を理解し、説明することができる。</li> <li>3 それぞれの地域、文化、民族の特質を理解し、説明することができる。</li> <li>4 多文化が共生するためには相互理解が必要であることを理解し、説明することができる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各時間の事前学習の報告を行うとともに、後半の授業では国際情勢と日本の課題について、資料 (プレゼン等) もとに発表し合う。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【参考書】 高校学校で使用した「世界史」の教科書またはそれに準じた参考書等。 例「詳説 世界史研究」「新もういちど読む山川世界史」とともに山川出版社</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>1. 世界史に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>3 日常の学習状況</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の30%	2 課題レポート	総合点の50%	3 日常の学習状況	総合点の20%
1 授業への積極的参加	総合点の30%								
2 課題レポート	総合点の50%								
3 日常の学習状況	総合点の20%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針である、学生の思考力・創造力・問題解決能力の育成の目的を達成するため、授業においては、受講生に次の諸点を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自ら課題意識を持ち、授業では集中力を保ち意欲的な態度で受講すること。</li> <li>2. 事前学習、事後学習は怠らないこと。</li> <li>3. 課題発表では、問題点を整理しつわかり易い説明資料 (プレゼン等) を準備すること。</li> </ol>								
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション ホモサピエンスの拡大 (原人 旧人 新人・人種 民族 語族)	事前学習	高校の教科書から世界史の学習内容を復習しておく						
		事後学習	自分の決めた課題に関する資料を集めておく						
第2回	古代オリエント世界 ギリシア ローマ (古代オリエントの統一 ローマ帝国)	事前学習	「古代オリエント」の意味を調べておく						
		事後学習	研究団体や研究内容についてまとめる						
第3回	アジアの古代文明 インド 中国 (インダス文明 中国の古典文明)	事前学習	インダス文明、黄河文明について調べておく						
		事後学習	インダス文明や黄河文明が発達した要因や背景についてまとめる						
第4回	海の道 東アジアとヨーロッパ (永楽帝による南海遠征と鄭和)	事前学習	洋の東西を結ぶ海の国際交易路について概要を調べておく						
		事後学習	「海のシルクロード」について調べ、その及ぼした影響についてまとめる						
第5回	ヨーロッパ列強の海外進出と近代ヨーロッパの成立 (東西ヨーロッパ世界の成立)	事前学習	「近世」と「近代」の違いについて調べておく						
		事後学習	近代ヨーロッパの世界各国への影響についてまとめる						
第6回	欧米の近代国家の発展とナショナリズム (ヨーロッパ諸国の海外進出、南北アメリカの発展)	事前学習	ナショナリズムの分類について調べておく						
		事後学習	様々に分類されるナショナリズムを整理する						
第7回	第一次世界大戦と民族主義 (帝国主義とアジアにおける民族運動)	事前学習	第一次世界大戦の頃の世界の情勢を把握しておく						
		事後学習	民族主義の影響を整理しておく						
第8回	ファシズム国家の成立と第二次世界大戦 (ロシア革命 ヴェルサイユ条約下の欧米 世界恐慌 ファシズム諸国の侵略)	事前学習	ファシズムが台頭する背景を調べておく						
		事後学習	ファシズムと第二次世界大戦に関わる国々の関係を整理する						

第9回	第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 (ヨーロッパの戦争 アメリカの参戦)	事前学習	日本を含むアジアの動きを調べておく
		事後学習	第二次世界大戦がアジアに及ぼした影響について整理する
第10回	米ソ冷戦の構造とアジア・アフリカの自立 (米ソ冷戦の始まりと西欧・日本の経済復興)	事前学習	戦後のアメリカとソ連の特徴的な働きについて調べておく
		事後学習	植民地主義に対するアジア、アフリカの動きを整理する
第11回	高度成長期の日本と国際関係 (第2次石油危機と湾岸戦争)	事前学習	高度成長期における日本の姿が世界の目にどのように映っていたか調べる
		事後学習	経済成長がもたらした日本の世界への影響を整理する
第12回	現代の国際情勢と日本の課題(1) 多文化共生の視点から我が国の課題を考える 「映像の世紀 20世紀の幕開け」を視聴	事前学習	多文化共生の考え方について調べ整理しておく
		事後学習	多文化共生の視点から「映像の世紀 20世紀の幕開け」について意見交換した事柄を含めレポートにまとめ提出する。
第13回	現代の国際情勢と日本の課題(2) 多文化共生の視点から我が国の課題を考える 「映像の世紀 世界は地獄を見た」を視聴	事前学習	第2次世界大戦について調べ整理しておく
		事後学習	多文化共生の視点から「映像の世紀 世界は地獄を見た」について意見交換した事柄を含めレポートにまとめ提出する。
第14回	現代の国際情勢と日本の課題(3) 多文化共生の視点から我が国の課題を考える 「映像の世紀 核と平和」を視聴	事前学習	核の脅威について調べ整理しておく
		事後学習	多文化共生の視点から「映像の世紀 核と平和」について意見交換した事柄を含めレポートにまとめ提出する。
第15回	現代の国際情勢と日本の課題(4) 多文化共生の視点から我が国の課題を考える 「映像の世紀 JAPAN」を視聴	事前学習	多文化共生の考え方と我が国の現場や未来について自分なりの考えをまとめ整理しておく。
		事後学習	多文化共生の視点から「映像の世紀 JAPAN」について意見交換した事柄を含めレポートにまとめ提出する。